

様式例 12 指定管理者制度活用事業 総括評価シート

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：平成29年7月20日

評価者：建設緑政局指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	川崎国際生田緑地ゴルフ場
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総括マネジメント業務 ・運営業務 ・維持管理業務 ・自主事業業務
指定管理者	名称：東急リゾートサービス・石勝エクステリア共同事業体 代表者：取締役社長 橋詰 雅彦 住所：東京都港区南青山二丁目5番17号ポーラ青山ビル 電話：03-6455-5617
所管課	建設緑政局みどりの企画管理課（内線：40751）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

評価項目	事業実施状況等					
1 市民や利用者に十分な量及び質のサービスを提供できたか。	【利用者数について】					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	1R	49,968	51,591	55,899	54,531	54,299
	ハーフ	3,388	3,392	2,365	2,549	3,048
	<p>指定管理者制度導入前の平成24年度は、1R利用者が49,968人、ハーフ利用者が3,388人であり、第1期指定期間4か年平均の1R利用者54,080人、ハーフ利用者2,839人と比較すると合計で約6.7%増加している。利用者数に関しては天候に左右される部分も多いが、安定的に高い利用率となっている。</p> <p>【利用者満足度について】</p> <p>プレーヤーに実施しているキャディアンケートでは、「良」以上の評価が常時96%以上（H25：96.3%、H26：96.4%、H27：97.6%、H28：97.5%）であり、利用者満足度は高い。また、レストランについては、利用者意見を反映したメニュー改善にも積極的に取り組み、より良いサービスの提供が行われ、レストランへの評価が高い。</p> <p>総じて、現指定管理者となってからの評価は高い水準を維持している。</p> <p>【維持管理について】</p> <p>制度導入前から劣化が見られていたカート道路の補修工事や排水改善工事などの修繕、プレーヤーの安全や景観に配慮した樹木剪定や枯れ松の伐採などを迅速かつ適正に行い、利用者から以前よりも良くなったという意見を得ており、特にグリーンに関しては、プロの利用者から状態を評価する意見を得ている。</p>					

2	<p>当初の事業目的を達成することができたか。</p>	<p>1 事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者サービスの向上 ② 市民サービスの向上 ③ 経費の節減 ④ 生田緑地の魅力の向上 <p>2 事業目的の達成状況</p> <p>(1) 利用者サービスの向上</p> <p>全国的にゴルフ人口が減少している中、利用者は制度導入前と比較し約 6.7%増となっており、利用者満足度についても制度導入前と比較して良くなったとの評価を得ている。</p> <p>また、プロの利用者からもグリーンの管理について評価の声をいただくなど、管理運営に力を入れている。</p> <p>(2) 市民サービスの向上</p> <p>年4回実施している市民開放日では、毎年趣向を凝らし、ヒーローショーやふれあい動物園などの様々なイベントを企画して、天候には左右されるが、市内外からの例年 8,000 人前後の市民に親しまれている。</p> <p>また、駐車場隣接広場を、地域住民が利用できる公開緑地広場として整備するなど、ゴルフ場利用者以外の地域住民向けの市民サービスの向上にも取り組んだ。</p> <p>(3) 経費の節減</p> <p>制度導入前である平成24年度は収支差額が△41,934 千円であったが、制度導入後においては納付金（以前は許可使用料）が増えているにも関わらず、人件費や委託費などの支出を抑えるなどして、一定の利益を上げている。</p> <p>(4) 生田緑地の魅力の向上</p> <p>景観再生や生態系保存に配慮した市民協働による松苗移植を行うほか、生態系保全調査で作成した計画に基づき、良好な生物多様性に配慮した管理を行っている。また、生田緑地マネジメント会議に参加して、生田緑地の指定管理者と連携し、生田緑地内の施設広報や生田緑地サマーミュージアムとゴルフ場の市民開放日の同時開催を実施するなど、生田緑地の横断的な取組に努めており、生田緑地全体の魅力の向上を図った。</p>
3	<p>特に安全・安心の面で問題はなかったか。</p>	<p>打球事故等が発生した場合などには迅速に対応するとともに、事故の防止のために防球ネットを新たに設置するなど安全対策、安全確保に努めている。</p> <p>樹木については、プレーヤーの安全や景観に配慮した剪定や、枯れた松の伐採などを実施している。また、カート路やコース内の補修等について、適切・迅速に行い、利用者の安全確保に努めている。</p>
4	<p>更なるサービス向上のために、どういった課題や改善策があるか。</p>	<p>ゴルフ場利用者の良好な満足度や高い利用率を維持し、継続的に利用してもらえるように、幅広い意見の収集を引き続き行う必要がある。</p> <p>生田緑地の指定管理者や緑地内の各施設と連携し、横断的な取組への協力事業や地域連携事業の実施について更なる市民サービスの向上を図る必要がある。</p> <p>川崎国際生田緑地ゴルフ場におけるより良好な生物多様性に配慮した管理を行い、自然を活かした魅力発信をするなど、生田緑地全体の魅力の向上につながるものについて、民間企業のノウハウによる提案を引き続き、活用していく必要がある。</p>

3. これまでの事業に対する検証

検証項目	検証結果																														
1 所管課による適切なマネジメントは行われたか。	<p>1 所管課は、指定管理者からの月次報告、四半期報告、年度報告に基づき管理運営状況の確認を行い、必要に応じて業務改善や効率化の指示を適切に行っている。また、定期的に現地調査にて施設の維持管理状況を把握・確認している。</p> <p>2 苦情や事故があった場合には、管理者が迅速・適切に対応するとともに所管課に報告・相談することを指導し実践させている。</p> <p>上記のことから、所管課によるマネジメントは適正に行っている。</p>																														
2 制度活用による効果はあったか。	<p>1 サービス面での効果について</p> <p>利用者数について、制度導入前の平成24年度と比較して、約6.7%の増が見られており、なおかつ一定の利用率、満足度を維持していることから制度導入の効果があったと考えられる。実際に、アンケートにおいても現指定管理者となって良くなったとの評価の声を多く受けている。</p> <p>2 収支等の効果について</p> <p style="text-align: right;">【単位：千円(税抜)】</p> <table border="1" data-bbox="368 1021 1423 1420"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>795,156</td> <td>806,000</td> <td>867,456</td> <td>855,861</td> <td>851,388</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>837,090</td> <td>720,001</td> <td>767,630</td> <td>779,678</td> <td>777,815</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>△41,934</td> <td>85,999</td> <td>99,827</td> <td>76,183</td> <td>73,573</td> </tr> <tr> <td>納付金</td> <td>323,520</td> <td>332,837</td> <td>335,238</td> <td>335,238</td> <td>335,238</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成24年度は市への納付金ではなく、管理許可使用料</p> <p>収支差額について、制度導入前は△41,934千円であったが、指定期間平均で83,896千円となっており、市への納付金についても指定期間平均11,118千円増加しているため、年間95,014千円の導入効果が認められる。支出削減の主な要因は人件費や委託費である。</p>	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	収入	795,156	806,000	867,456	855,861	851,388	支出	837,090	720,001	767,630	779,678	777,815	収支差額	△41,934	85,999	99,827	76,183	73,573	納付金	323,520	332,837	335,238	335,238	335,238
項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度																										
収入	795,156	806,000	867,456	855,861	851,388																										
支出	837,090	720,001	767,630	779,678	777,815																										
収支差額	△41,934	85,999	99,827	76,183	73,573																										
納付金	323,520	332,837	335,238	335,238	335,238																										
3 当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	<p>現在使用しているカートは、平成21年2月に導入し、平成27年2月にリース期間を満了しており、現在は再リース中となっている。当ゴルフ場は利用率が高く、それに伴いカートの使用頻度も高くなり、カートの劣化や老朽化が進んでいるため、今後カート更新の必要がある。</p> <p>指定管理者の純収益が大きいと、納付金の増額や、更なる市民サービス向上につながる提案を求めることなどについて精査する必要がある。</p>																														
4 指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	<p>キャディアンケートによる評価については、「大変良い」、「良い」との回答が4年間で常に96%以上であることやレストランのアンケートや利用者からの直接の意見等も含め、概ね良好との意見が多く、施設の維持管理も水準書以上に適切に行われていることから、引き続き指定管理者制度の活用が適当であると考えられる。</p>																														

4. 今後の事業運営方針について

川崎国際生田緑地ゴルフ場は、パブリックゴルフ場として、レクリエーションの場を提供するとともに、管理運営の充実、生田緑地内の各施設との連携や回遊性の向上を目的としている。

全国的にゴルフ人口が減少している中で、川崎国際生田緑地ゴルフ場は制度導入前と比較し約6.7%増となっており、安定的に運営できている。

現在の指定管理者は、計画以上の特別割引デーの実施やレストランメニューの改善、設備の新規導入など、利用者へのサービス向上に努め、アンケート等により、概ね良好との評価を非常に多く受けている。また、地域住民を対象とした市民開放日を年4回実施し、毎回楽しみにしているといった声など高評価をいただいている。地域還元として、駐車場隣接広場の公開緑地整備を行い、地域住民から評価の声を得ている。

上記の内容から、今後の運営としては引き続き、民間企業のノウハウを活かし、サービス水準の向上や効率的・効果的な管理運営を行うことが、市民サービスの提供として必要である。

また、制度導入前のサービス提供の同等以上を行いつつ、市へ納付金を納めてもらうことによって、生田緑地全体の維持管理経費への充当が図られている。

こうしたことから、川崎国際生田緑地ゴルフ場は、今後も指定管理者制度を継続していくことが妥当である。